

かめ穴 (Potholes)

この地質学的現象は、主に 2200 万年前に起こった噴火の初期に形成された安山岩からなる、「紫龍」と呼ばれる龍王峡の上流部に見られます。水平な岩石段丘に点在する円形の穴は、旋回する水流が小さな岩や小石を大きな岩の表面に擦り付ける摩擦による浸食で形成されたものです。龍王峡のこれらの穴は、大きな甕に似ていることから、「かめ穴 (potholes)」と呼ばれています。下流の流紋岩にも同様の穴がみられますが、それらは崖面のずっと高い位置にあるのに対し、ここの穴は現在の水位からわずか 1m 上にあります。この違いは、川の流れが下流の岩石をこの区間よりも速いペースで浸食しているためだと考えられています。